

# 湖東定住自立圏の取組について



平成22年8月25日(水)  
彦根市副市長 藤井 比早之

# 【湖東定住自立圏の概要】

滋賀県全体地図



※ 地図内の情報は2010年3月21日現在のものです。

## 湖東定住自立圏拡大図



## 【湖東定住自立圏】

- 面積 392.16km<sup>2</sup>
- 人口 155,666人
- 世帯数 58,029世帯
- 人口増加率 1.7%



彦根城天守  
(国宝・世界遺産暫定リスト登録)

## 【彦根市】

- 面積 196.84km<sup>2</sup>  
(うち琵琶湖の面積 98.69km<sup>2</sup>)
- 人口 111,713人
- 世帯数 43,191世帯
- 人口増加率 1.8%



ひこにゃん

注)面積は、平成21年10月1日現在。人口・世帯数は、平成22年8月1日現在。

人口増加率は、平成12年～平成17年国勢調査

## 【愛莊町】

- 面積 37.95km<sup>2</sup>
- 人口 20,668人
- 世帯数 6,968世帯
- 人口増加率 3.9%



金剛輪寺大悲閣本堂(国宝)



あしょうさん

## 【豊郷町】

- 面積 7.82km<sup>2</sup>
- 人口 7,352人
- 世帯数 2,703世帯
- 人口増加率 4.0%



豊郷小学校旧校舎群

注)面積は、平成21年10月1日現在。人口・世帯数は、平成22年8月1日現在。

人口増加率は、平成12年～平成17年国勢調査。



## 【これまでの取組状況】

- 平成20年10月28日  
先行実施団体の決定  
(全国で24市22圏域(平成21年4月1日現在))
- 平成21年4月15日  
彦根市が湖東定住自立圏中心市宣言を行なう  
(近畿で初めての中心市宣言)
- 平成21年9月  
各市町議会9月定例会において、湖東定住自立圏形成協定の締結に関する議案が議決される
- 平成21年10月4日  
湖東定住自立圏形成協定の調印式を1市4町合同で開催  
(全国で4番目、近畿で初めての協定締結)
- 平成22年3月25日  
湖東定住自立圏共生ビジョンを策定

## 【湖東定住自立圏形成協定の概要】

### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ア 医療
  - ・圏域内各医療機関の役割の明確化、機能分化、連携強化、ネットワーク化
- イ 福祉
  - ・障害者（児）福祉サービスの充実
  - ・次世代育成支援
- ウ 教育
  - ・拠点図書館の整備と図書館相互のネットワークの構築
- エ 産業振興
  - ・びわ湖・近江路観光圏構想の推進などによる観光振興
- オ 環境
  - ・低炭素社会の構築および河川流域の水質保全
- カ ごみ処理
  - ・ごみ処理の広域化
- キ 消防および救急搬送
  - ・消防業務および救急搬送業務の円滑な運営および救急搬送ネットワークの構築

### (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

- ア 地域公共交通
  - ・圏域全体の総合的な公共交通ネットワークの構築
- イ（仮称）湖東三山スマートインターチェンジの整備
  - ・（仮称）湖東三山スマートインターチェンジを活用した地域振興
- ウ バイコロジー自転車道の整備促進
  - ・バイコロジー自転車道の整備およびルート（マップ）の整備
- エ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消の推進
  - ・農産物の生産体制の整備および学校給食や直売所における地元農産物の安定的な利用拡大

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- ア 職員の人材育成
  - ・合同研修や研究等の実施による職員の資質および政策課題への対応力向上
- イ 職員等の交流
  - ・職員の人事交流
- ウ コンピュータシステムの共同利用・共同開発
  - ・コンピュータシステムの共同利用・共同開発

※町により、協定内容は異なります

## 具体的な取組事例

### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

#### ア 医療

##### ■ 周産期医療体制の確立

- ・「滋賀医科大学寄附講座による医師確保対策等を活用し、彦根市立病院での産科医師によるハイリスク分娩の再開をめざす」(滋賀県地域医療再生計画より)

※地域医療再生基金を有効に活用

厚生労働省医政局長通知により、県が地域医療再生計画を作成するに当たっては、「当該圏域の中心市等と協議するなど、当該定住自立圏に関する取組との調和が図られるよう配慮する」とこととされている

##### ■ 湖東地域医療支援センターの設置等事業

- ・圏域内の医療や保健・福祉等の関係者が情報を共有し、各医療機関の役割分担と連携を図るための、湖東地域医療支援センターを設置

##### ■ 地域医療連携ネットワーク事業

- ・圏域内の各医療機関をインターネットで結ぶなど、診療情報が共有できるような電子システムを構築

##### ■ 看護師確保対策

- ・地元大学における看護学部の新設(定住自立圏等民間投資促進交付金を活用)

## イ 福祉

- 彦根愛知犬上地域障害者(児)共同事業
  - ・障害者(児)の支援に関する事業を広域的に実施し、サービス基盤の強化およびサービス内容の充実を図る
    - ①重症心身障害者通園施設運営費補助事業
    - ②24時間対応型利用制度支援事業 など
- 子育て支援等広域連携事業
  - ・子どもの成長および保護者による子育てを支援するため、その方策および保育所・子育て支援センターなどの施設機能等について、情報交換などによる連携・充実を図るとともに、支援者(職員)の研修やボランティア養成講座の開催等、広域的な人材育成を行う

## ウ 教育

- 圏域内図書館の多様なネットワーク構築
  - ・資料・情報ネットワーク構築事業
    - 圏域独自の相互貸借、レファレンス事例のデータベース化と共有、多文化・障害者・高齢者サービスへの取組、広域利用への取組の展開
- 拠点図書館の整備を検討
  - ・圏域の拠点となる図書館の整備を検討する

## エ 産業振興

### ■ 地域創造事業

・「戦国、戦(いくさ)」等をテーマに、圏域の一体感の醸成と活性化を図るため、圏域内の住民団体やNPO法人等、自らが創意工夫を凝らして企画・立案・実施を行う事業に対する支援を行う

### ■ 交流・移住支援事業

・圏域内における地域資源データの収集・調査を行うとともに、管理運営も含めた具体的な活用方法に係る調査を行う

①地域資源データの収集および地域資源活用メニューの検討

②遊休化した公共施設および古民家等の整備運営に係る実証調査

③歴史的・文化的風情を残す街道の環境整備に関する調査

・都市地域から、地域おこしの支援を行う「地域おこし協力隊」を募集するとともに、募集に際して湖東圏域のPRを行う

### ■ 観光圏整備事業

・びわこ・近江路観光圏整備事業(近江屋ツアーセンター事業、体験型観光推進事業、モニタリング調査事業など)

・構成市町:彦根市、長浜市、東近江市、米原市、近江八幡市(旧安土町エリア)、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

### ■ 湖東圏域エコ交通環境整備事業

・JR東海道線(琵琶湖線)や近江鉄道の駅を起点としたレンタサイクルの整備を推進し、利便性を確保する

## オ 環境

- 「緑の分権改革」推進事業
  - ・圏域の特徴的な資源を広域的に活用する仕組みを構築
    - ①バイオマス資源詳細調査、バイオ燃料用生産可能性調査
    - ②小水力発電実証調査
    - ③太陽光発電実証調査
  
- 地域低炭素社会構築推進事業
  - ・二酸化炭素の排出抑制を行うため、行政、事業者、住民が主体的に行動を起こせるよう啓発活動等を行う
    - ①緑化保全推進(森林保全、カーボンオフセット)
    - ②新エネルギー事業 など
  
- 水質保全活動推進事業
  - ・近畿の水がめ琵琶湖の水質保全のため、行政区域界を越えた河川流域での水環境維持・保全への取組、不法投棄・散乱ごみ等への対策を展開

## カ ごみ処理

### ■ 新ごみ処理施設建設

- ・1市4町で広域ごみ処理施設の建設を行い、ゴミ処理の効率化を促進

## キ 消防および救急搬送

### ■ 常備消防業務の充実

### ■ 受託消防業務の充実

### ■ 消防施設整備の充実

- ・常備消防業務の広域的な実施や消防施設の充実を行うことで、消防能力の向上を図る

## (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

### ア 地域公共交通

#### ■ 地域公共交通総合連携計画の拡大

- ・彦根市が策定した「彦根市地域公共交通総合連携計画」の区域を、圏域1市4町に拡大し、圏域内の公共交通の活性化とネットワーク化を図るとともに、予約型乗合タクシーの導入など、多様な交通体系を活用した公共交通の構築を目指す。また、地域公共交通総合連携計画との整合を図りながら、コミュニティバス運行事業者を支援し、地域住民の生活に密着した路線バスの運行を維持、改善する

##### ①湖東圏域地域公共交通総合連携計画に基づく各種調査・改善事業の実施

- ・路線バスと鉄道との連携強化や予約型乗合タクシー実証運行の実施
- ・わかりやすい時刻表や路線図の作成、インターネット等を利用した情報提供の実施
- ・企業や商店街、観光地との連携による公共交通サービス策

##### ②コミュニティバス運行事業者への補助

#### ■ 駅関連施設や駅周辺施設の整備

- ・JR稲枝駅舎および駅前広場の整備

JR稲枝駅舎改築および駅前広場を整備するとともに、既存幹線道路からのアクセス道路の整備を行う

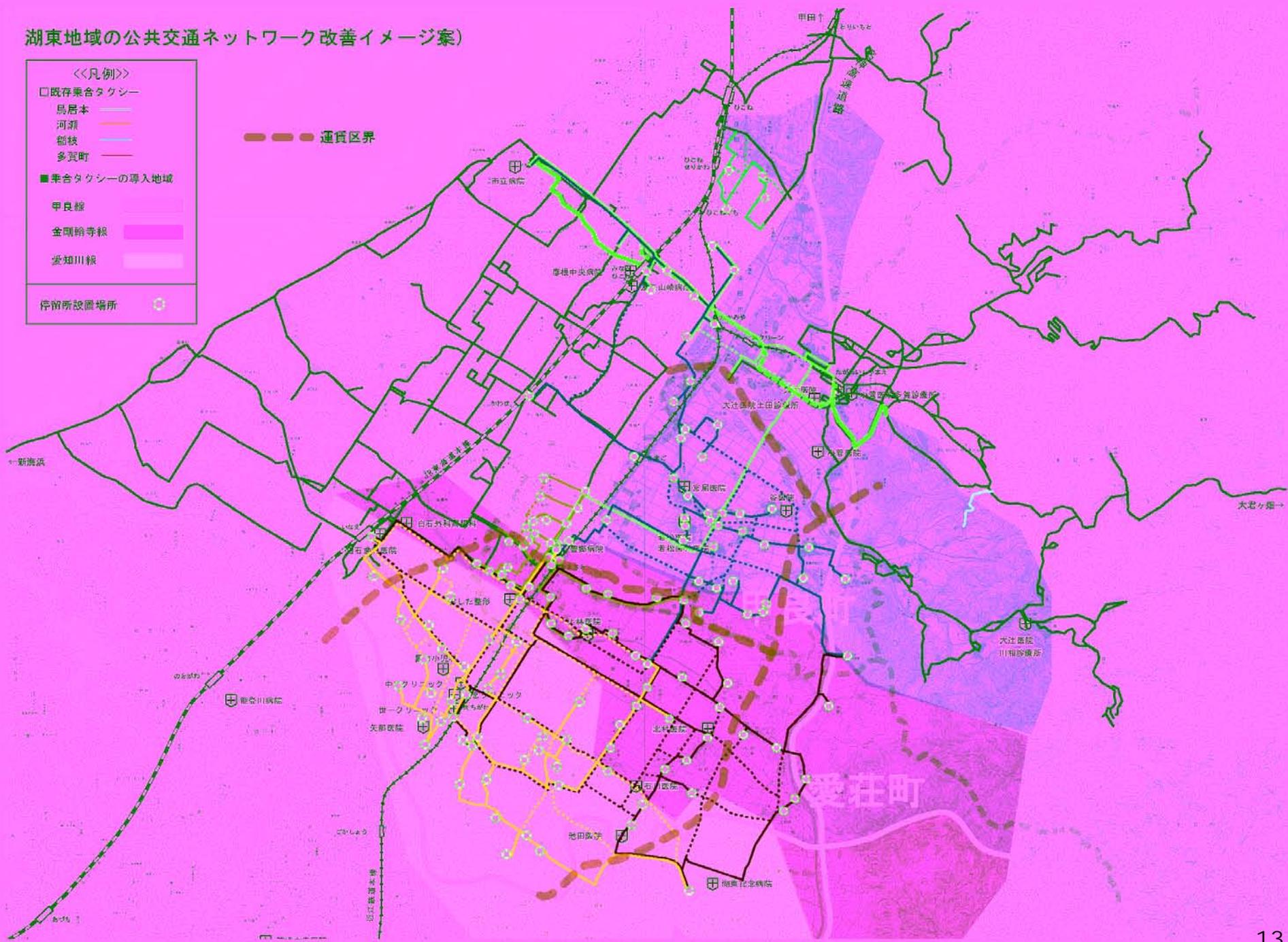
- ・彦根駅東土地区画整理事業の推進

彦根駅東口駅前広場に接続する都市計画道路を整備し、周辺地域からの公共交通の乗入に伴う結節点機能を高めるとともに、各種公共施設の整備を行う

# 湖東地域の公共交通ネットワーク改善イメージ案)

- 《凡例》
- 既存乗合タクシー
  - 乗合タクシーの導入地域
  - 甲良線
  - 金剛輪寺線
  - 愛知川線
  - 停留所設置場所

----- 運賃区界



## イ (仮称)湖東三山スマートインターチェンジの整備

### ■ アクセス道路整備事業

・平成25年度完成予定の(仮称)湖東三山スマートインターチェンジを活用し、観光振興や生活環境等の向上など、圏域全体の活性化を図る

- ①(仮称)湖東三山スマートインターチェンジへのアクセス道路のルートを検討
- ②県に対する事業実施の提言 など

## ウ バイコロジー自転車道の整備促進

### ■ バイコロジー整備促進事業

- ①自転車を利用した通勤、通学、買物等の日常生活や観光等のルート策定
- ②自転車優先道路のサイン看板等による整備促進
- ③ルートマップ、パンフレットの作成によるバイコロジーの推進

## エ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消の推進

- 地産地消推進体制整備
  - ・生産者と消費者をはじめ関係機関が連携し、地産地消の行動方針を策定し、広報啓発等を行うとともに、地産地消の取組の推進
    - ①地産地消推進協議会の設置と運営
    - ②地産地消行動方針の策定
    - ③地産地消広報啓発
    - ④地産地消の担い手育成支援事業
      - ・「地産地消の仕事人」等のアドバイザーによる状況調査結果の分析、助言 など
- 特産品(地元農産物)の生産および消費状況調査
  - ・圏域における農産物の生産から流通、消費の実態を調査し、生産振興ならびに消費拡大に活用
- 地元農産物消費拡大事業
  - ・圏域内での地元農産物の消費拡大を図るため、圏域内の流通や活用を促進し、学校給食への地元農産物供給など、販路拡大に向けた活動を支援

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### ア 職員の人材育成等

##### ■ 職員合同研修の開催

- ・市町合同による研修を開催するとともに、各市町が実施する研修および政策課題等の研究において、他の市町にとって有益なものについては、相互に参加できるシステムを構築

#### イ 職員等の交流

##### ■ 職員交流(研修派遣、指導派遣)

- ・改善等が必要な政策分野の業務ノウハウを吸収し合うため、関係職員の派遣または受け入れを行う

#### ウ コンピューターシステムの共同運用・共同開発

##### ■ コンピュータシステムの共同利用・共同開発

- ・コンピュータシステムの共同利用・共同開発等に取り組むため、共同運用可能な業務および効率化が図れる業務等の現状把握と課題整理を行う

## 【定住自立圏構想を推進したことによるメリット】

- 1市4町首長同士の信頼関係の構築
- 1市4町職員同士の交流の促進、信頼関係および協力体制の構築
- 平成20年度および平成21年度における3つの臨時交付金の割増相当額  
(彦根市:1億4,354万1千円)
- 包括的財政支援措置等、その他の財政支援措置に期待

## 【定住自立圏構想推進のうえでのポイント】

- 首長同士の信頼関係の構築
- 職員同士の信頼関係の構築
- 各市町議会の理解
- 圏域住民の理解